

医療AIコンサルタント



あるあるネタ

- ・医療ニュースを見ると、内容よりも「AIでどう改善できるか」を先に考えてしまう。
- ・病院に行くと、受付システムや診断プロセスをつい分析してしまう。
- ・「AIが医者置き換えるんですか？」とよく聞かれて、毎回丁寧に説明する羽目になる。

初期の失敗

新人の頃、専門用語を並べすぎて医療従事者に伝わらず、「AIはすごいのは分かったけど、結局どう役立つの？」と聞かれてしまいました。その時に「専門知識を現場の言葉に翻訳する大切さ」を学びました。

職業病

普段の会話でも、つい「データの的に言うと」「アルゴリズム的には」と話してしまう。

健康問題

長時間のPC作業による眼精疲労や肩こり、出張や打ち合わせ続きによる生活リズムの乱れが起こりやすいです。

その職業に就いている人を讃える

「あなたは未来医療を支える“AIの通訳者”ですね。テクノロジーと医療現場をつなぎ、より良い診断や治療を可能にしています。難しい数式も、あなたの説明で白衣の人たちに魔法のように伝わります。どうか目と体を大切にしながら、これからも医療の進化を後押ししてください」